



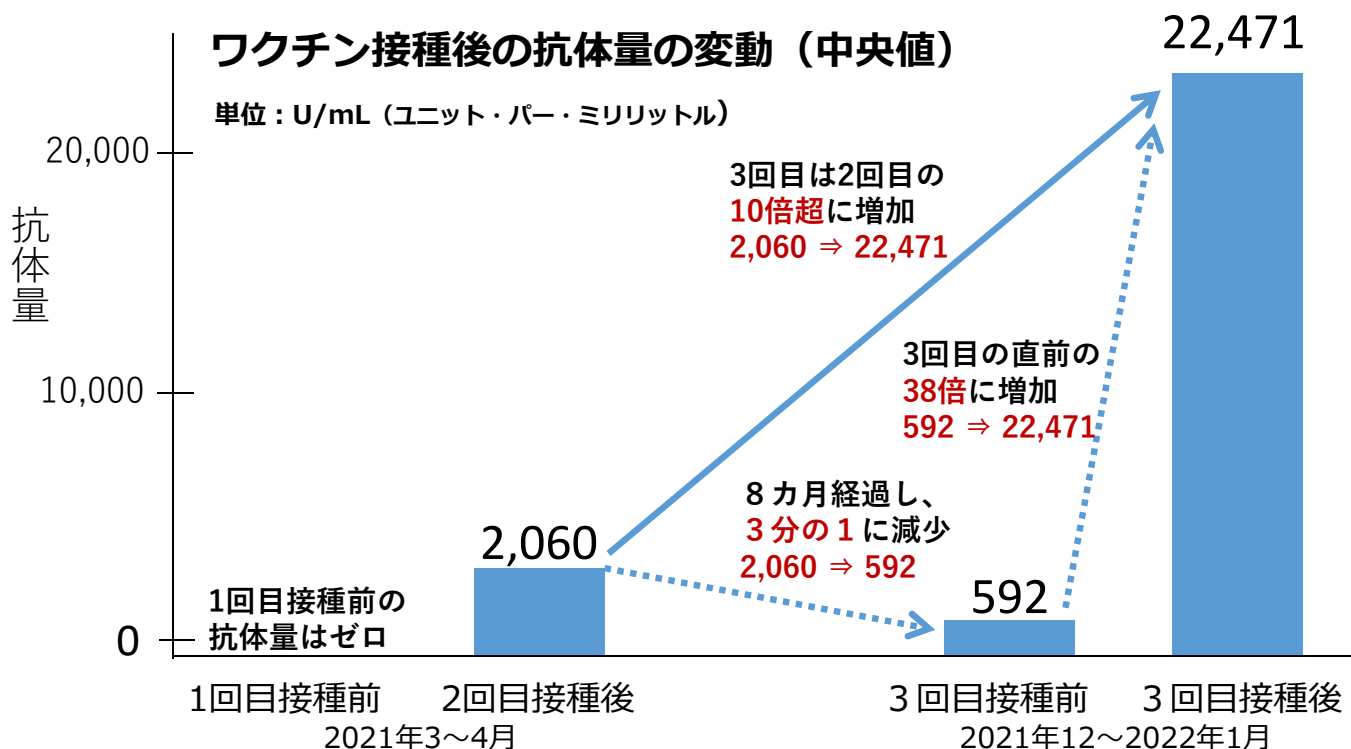
ワクチンの3回目接種で抗体量が2回目の10倍超に増加

当院職員1,372名を調査し、年齢の差なく増加

— 2回目から8カ月間で3分の1に減少していたことも確認 —

千葉大学病院（病院長 横手幸太郎）は、新型コロナワクチン（ファイザー社製）の3回目接種をした当院職員1,372名の血液を調べたところ、抗体量の中央値が、2回目接種後の2,060 U/mLから22,471 U/mLに10倍以上増えていることがわかりました。私たちの免疫には、一度感染した病原体に再度感染した際に前回よりも早く、かつ強く病原体を攻撃する「免疫記憶」という機能があり、3回目の接種で上乗せ効果が表れたと考えられます。

また、2回目接種後から3回目接種までの8か月間で、抗体量が2,060 U/mLから592 U/mLへと、3分の1に減少していることもわかりました。しかし、3回目接種後は、年齢にかかわらず、著しく抗体量が増加しており、3回目接種の効果を確認することができました。



- ・ 1回目接種前に採血・2,015名 (男性 719名、女性1,296名、21才~72才)
- ・ 2回目接種後に採血・1,774名 (男性 606名、女性1,168名、21才~72才)
- ・ 3回目接種前に採血・1,443名 (男性 483名、女性960名、21才~72才)
- ・ 3回目接種後に採血・1,372名 (男性 439名、女性933名、21才~72才)

<取材申し込み・お問い合わせ先>

千葉大学医学部附属病院 病院広報室

Tel : 043-226-2225 Fax : 043-224-3830 E-mail : byoin-koho@chiba-u.jp